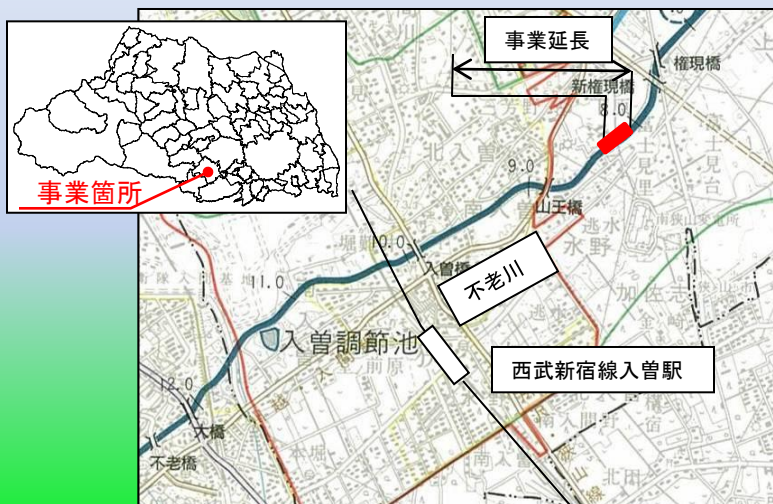


位置図



事業概要

開始年度 平成21年度
 事業延長 L=91m
 事業内容

石張工	86㎡
木柵タイプ護岸	47㎡
自然石護岸工	80㎡
木柵土留	55m

地域の声

水辺に近づきやすくなった。

事業経緯

不老川水辺再生検討会

- ・第1回(H21.9.17)
- ・第2回(H21.12.2)
- ・第3回(H22.2.9)

測量・設計(H21.6~H22.3)

工事(H22.6~H23.6)

現場披露会(H23.5.21)

検討会メンバー

地元自治会、
 不老川をきれいにする会
 不老川流域川づくり市民
 の会、中学校、
 狹山市、県

地域活動

- ・不老川クリーン作戦(5月中旬)
- ・親子体験学習
- ・月1回早朝パトロールを実施



整備の状況



整備前

東山王橋より上流を望む(H21.9撮影)



整備後

東山王橋より上流を望む(H23.6撮影)

- ポイント①: 自然と触れ合え、利用しやすい場をつくる
- ポイント②: 水辺に近づきたくなる、良好な水環境をつくる
- ポイント③: 河川の自然環境と調和した景観をつくる
- ポイント④: 生き物が生息しやすい環境をつくる

★: ビューポイント



木柵タイプ積ブロック

間伐材を前面に張り付けた積ブロック護岸とし、景観に配慮した。



立面平面

木杭群

木杭を設置することにより、魚のすみかを創出した。



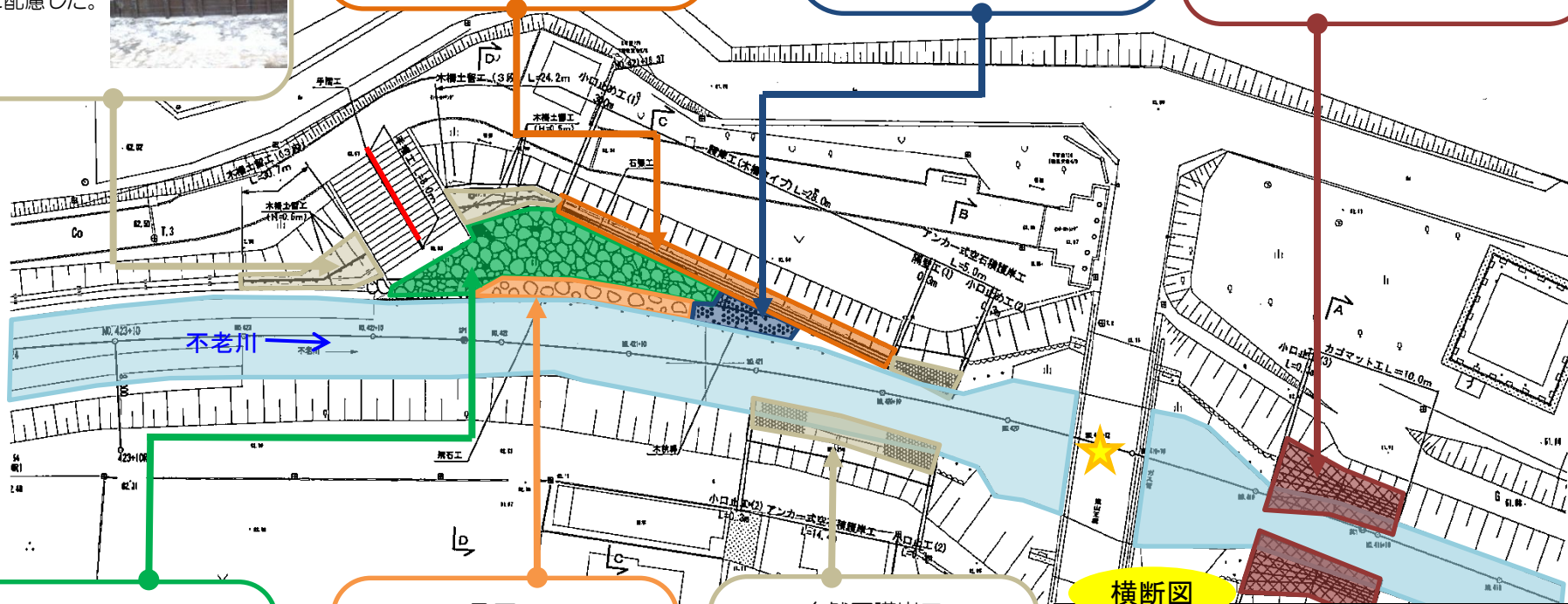
かごマット

かごマットを使用した護岸とし、自然に配慮した。

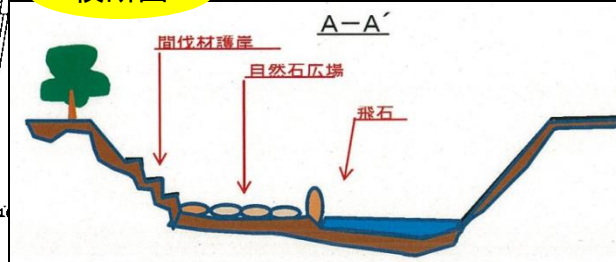


木柵土留工

擬木を使用した土留めにより、景観に配慮した。



横断面図



石張工

平場に自然石の石張を行い、安全に遊べる空間を創出した。



飛石工

平場の水際に飛び石を置き、水の上を歩けるようにした。



自然石護岸工

自然石を使用した護岸とし、景観や自然に配慮した。

